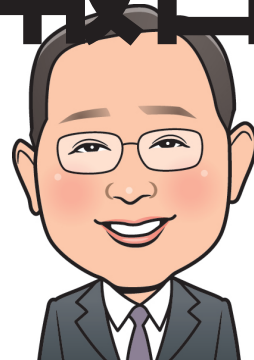


高橋しんすけ 議員報告

みんなの党 高橋伸介：1953.4.25生れ、A型。佛教大学卒。京都信用金庫に10年勤務後、染色補正技能士として京都の伝統産業に従事。市民オンブズマンを経て1999年より市議会議員。後援会組織を持たず、一切合切を一人でこなす完全ひとり選挙の手法を貫き現在4期目。行財政改革系・納税者系・オンブズマン系の市議会議員。平成22年9月よりみんなの党。



twitterとfacebookは非常時用に開設しています。



枚方市役所議会事務局〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 tel 072-841-1221 自宅〒573-1106 枚方市町楠葉(まちくずは)2-27-6



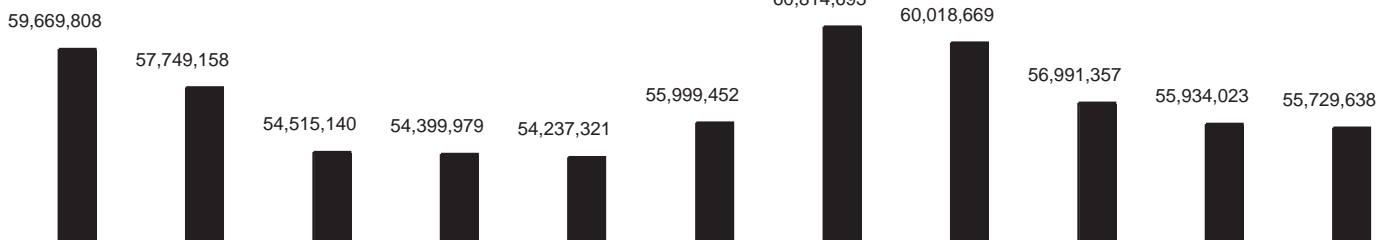
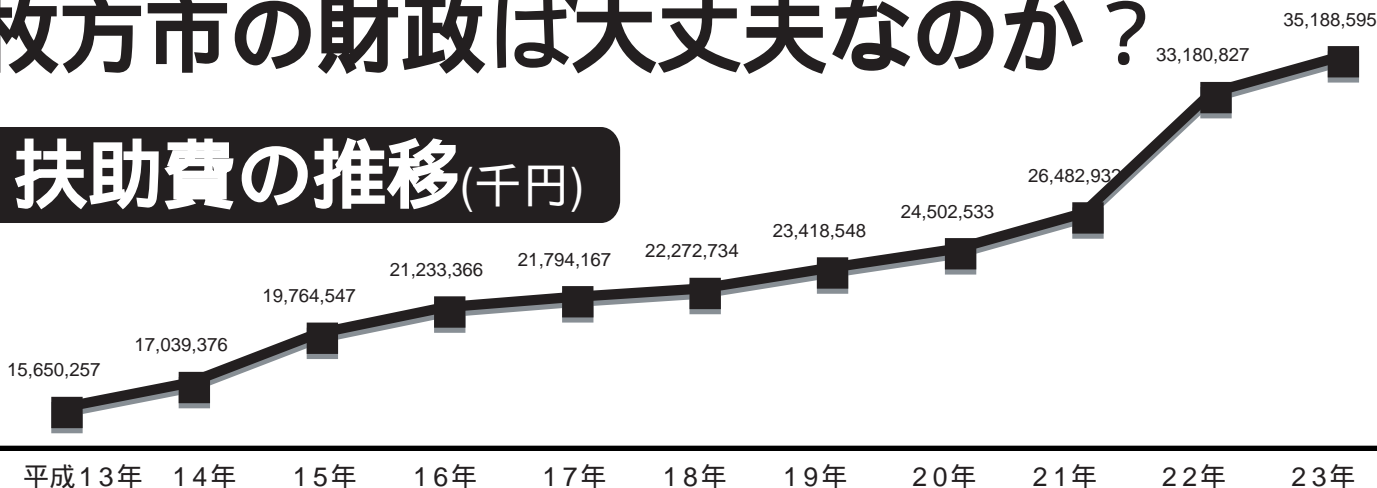
99年開設以来のデータを蓄積。日記も頻繁に更新中。

高橋しんすけ議員報告ホームページ

ホントに

枚方市の財政は大丈夫なのか？

扶助費の推移(千円)



グラフ1：市税収入と扶助費の推移

市税収入の推移(千円)

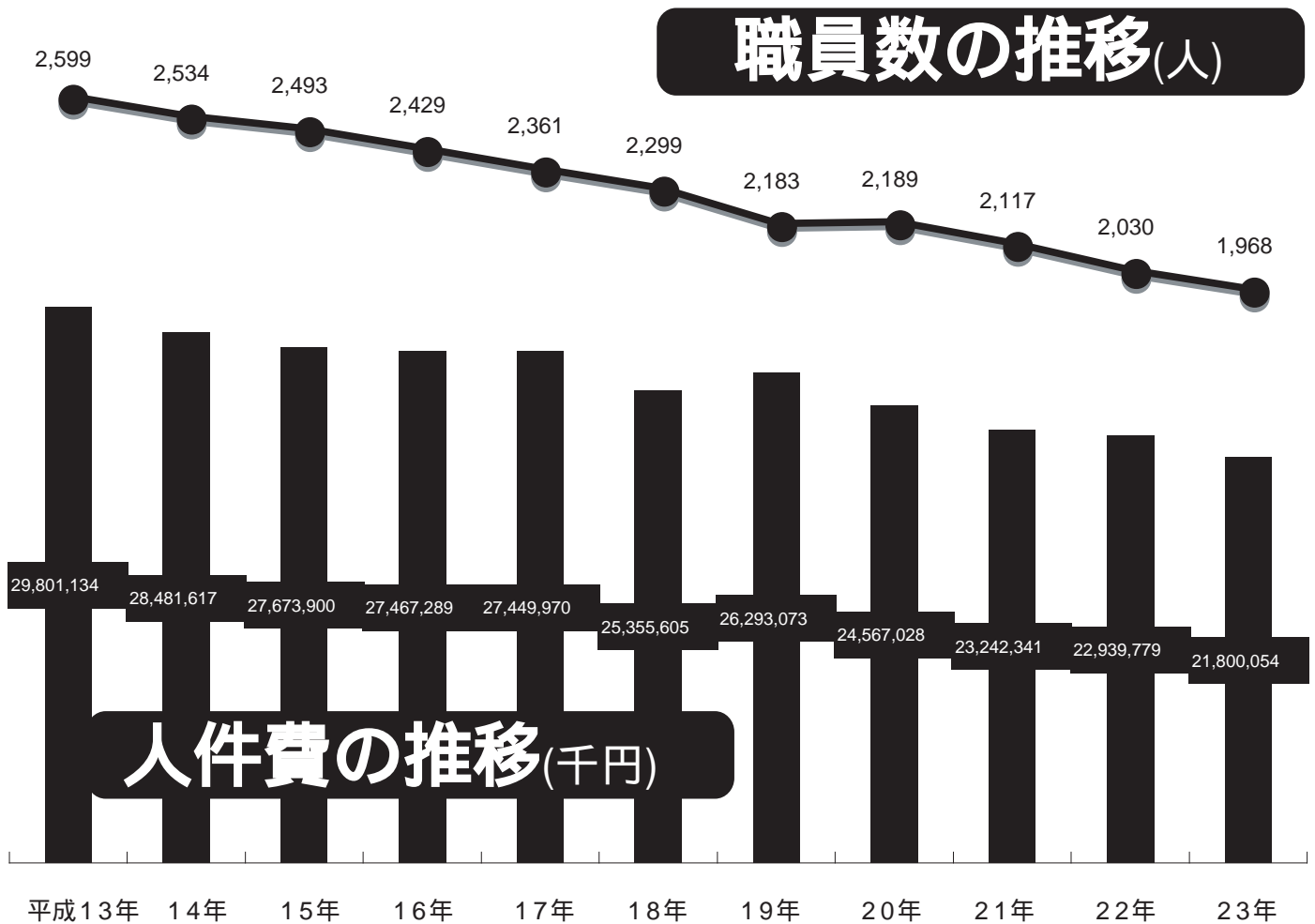
前回の報告に続いて、私から見た市の財政状態のご報告です。昨年、ご家庭に配られた「広報ひらかた10月号」には、大きな見出しで「一般会計実質収支10年連続の黒字」とされ、説明文のところでも「財政の健全性を維持」と記載されていることから、皆さんの中には安堵感をお持ちのかたも多くおられるのではないかと思います。

しかし、私はこの書き方に違和感を抱いているところです。今から約15年前の枚方市倒産の危機は、前市長と議会の努力で回避しましたが、危機回避後、二度と倒産の危機を招かない為にも、より強力な財政基盤を作っていくのが我々議員の任務と考えています。現状の財政状況では本当の安堵感をもつと先のことで、行政側としては職員の待遇改善や総合文化ホールなどの事業展開を自由に行なうためには、危機は回避されたようなイメージの方が都合がよいと考えているのではないかと感じています。そしてそのようなときは、小さい字でさりげなく書かれていることに案外真実があったりします。たとえば、先の大見出しの横には、「市税収入は2億円の減収、扶助費は増加」と小さな字で書かれています。そこで、この部分を10年分のグラフにしてみました。上のグラフ1です。

市にとって最も重要な市税収入が横ばいから低下傾向にあり、扶助費は毎年度確実に増加してきています。この状態はワニが口を開いているようなので「ワニの口」といいます。口の開く角度によって財政の緊急度は異なりますが、開いている部分は収入不足の分ですので何らかの形で埋める必要があります。口が開いた部分を市債や臨時財政対策債などの借金で埋めるのか、行財政改革などにより支出を減らすのか、それとも市税などの収入を増やすのかなどの対策が必要となります。また、扶助費そのものを減らすことも必要ですが、扶助費は法律に基づいての支出でもあることから扶助費を減らすことは自ずと限界があります。現在の枚方市では、行政内部にストレスを生む「行財政改革！」は単なる呪文にしか過ぎず、汗をかき、身を切る、より一層の努力が求められる行財政改革は職員組合からの反発も大きいので骨抜きになりつつあると感じています。

私は前市長時代に策定された「構造改革アクションプラン」により、職員組合が最も嫌う人員と人件費の削減によって今の枚方市は辛うじて機能していると考えます。そこで、この部分をグラフにしてみました。それが下のグラフ2です。

グラフ2：職員数と人件費の推移



人件費削減は財政的に明らかに効果が上がっていますが、それ以上に（ ）扶助費の支出が増加していることがわかります。

現在、市は（ ）臨時財政対策債を限度額一杯の借り入れを実行していますが、今後、市は老朽化している穂谷川清掃工場第3プラントの課題や市駅前の再々開発、老朽化し部局が離ればなれになってしまっている本庁舎の防災拠点庁舎への建て替えと合同庁舎化、老朽化した公共施設の集約化、中核市移行に伴う保健所の課題、新しくなる市民病院の経営など解決せねばならない問題が山積しています。

また、市の組織の簡略化や市駅前の再々開発で問題となる古いサンプラザビルや府営住宅の問題処理。幼稚園、保育所、ゴミ収集業務などは一部を残しつつ統廃合や民営化を進め待機児童も解消し競争力も確保する。特定団体などへの利益供与を廃するなど聖域なき構造改革に着手し、積極的に合理化を図り、安定した財政基盤を確立しなければ極めて厳しい状況に陥っていくことが予想されます。

一例として穂谷川清掃工場第3プラントを取り上げます。第3プラントは竣工から二十五年目を迎える、ゴミ処理施設で処理能力は日量20

0トンのゴミを処理しています。昨年十一月の厚生委員協議会に出された調査結果資料では、故障した場合、プラントの運転停止又は重大な事故に結びつく設備が、三十八項目中、二十六項目ありました。また更新が必要とされる劣化状態が同項目中、三十項目に上りました。

当分、延命化処置で寿命を引き延ばすにしても、将来の立て替え費用の問題と新たな処理工場を引き続き穂谷川の地域の皆さんにお願いするのか、東部の地域の皆さんの同意を得て東部清掃工場に集約するのか難しい問題が発生します。どちらにしても相当な費用が必要となります。

先ほど述べた多くの問題点をこのような視点で見ていきますと、福祉や教育、基盤整備などとは無縁な「お遊び系」に予算を割く余裕のないことがご理解いただけると思います。

安心・安全の市民生活を守る上で、「あれもこれも」から、「本当に必要なものをムダなくスピーディーに執行」していくことが行政に求められています。

í
h

Ü
C

扶助費とは

社会保障制度の一環として、生活保護法や児童福祉法、または、老人福祉法など、国の法律に基づいて支出するものと、地方自治体が住民福祉の増進を図るため、独自の施策において支出するものがあり、現金・物品を問わず、被扶助者に対して支給される福祉施策の根幹を成す経費。

臨時財政対策債とは

地方一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債。必要に応じて地方自治体が発行し、償還費用は全額国が負担するとされるが、問題もあると指摘される地方債。

つづ

昨年は、年末に衆議院選挙などもあり議員報告のタイミングが合わず発行が出来ませんでした。誠に申し訳ありませんでした。また、1月には発行するつもりが、ずるずると今になってしまいました。

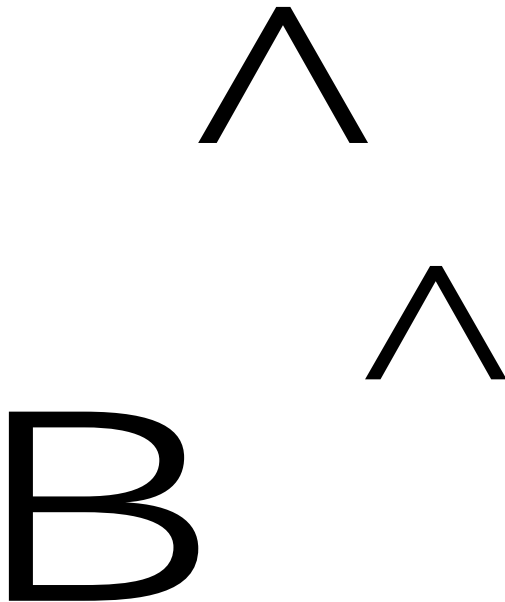
さて、国政において長年続いていた自民党時代においても変わることのなかった枚方の政治体質も、近年、市民の力で徐々に変わりつつあります。とりわけ、枚方では昨年末の衆議院選挙で政治構造が大きく変わりました。

我々議員のバックボーンである地方自治法には、「能率的な行政の確保を図り、地方公共団体の健全な発達とともに住民の福祉の増進を図ることが基本」とされています。この原則を忠実に実行することは、簡単なようで実は大変難しいことです。

（財政が萎縮状況にある中で、何にお金）

税）を使うかはまさに政治の役割です。最終的には「選挙」により市民の皆様の判断に委ねられるのが民主主義の仕組みです。

私は、「あれしてほしい、これしてほしい」と思われる方々からは煙たがられる議員ではありませんが、嫌われ役としてキツチリ議員としての仕事を進めてまいります。体調が今ひとつの状態が続いていますが、頑張っております。



議員のホームページや議員報告（ペーパー版）は政務調査の目的により運用しております。市政に関するご意見、ご提言、ご感想をお寄せ下さい。尚お名前やご住所は他の目的を持って使用することはありません。

くずは駅前報告～ライブ通信

（2012年12月現在648回目のご報告でストップしています）

くずは駅周辺4ヶ所で朝6:30～8:30
（土日祝雨天そして用事のある日は休みです）



駅前報告
再開できて
おりませんが
ガンバリマス！

t u t C B M K J H G F D